

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2005-51633 (P2005-51633A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-008
 【出願番号】特願 2003-283197 (P2003-283197)
 【国際特許分類第 7 版】

H O 4 N 5/91
 H O 4 J 3/00
 H O 4 N 5/222
 H O 4 N 7/24

【F I】

H O 4 N 5/91 N
 H O 4 J 3/00 M
 H O 4 N 5/222 Z
 H O 4 N 7/13 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 11 月 24 日 (2004.11.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

入力した編集対象の映像素材に関する素材ビットレートと、出力すべき出力ビットレートとを比較することによりビットレート判定を行うビットレート判定手段と、

上記ビットレート判定手段によって上記出力ビットレートが上記素材ビットレートよりも大きいと判定した場合、意味の無いデータを上記映像素材の素材データに付加することにより上記素材ビットレートを上記出力ビットレートに変換するビットレート制御手段とを具備することを特徴とする編集装置。

【請求項 2】

上記ビットレート制御手段は、上記意味のないデータとして「0」データを付加することを特徴とする請求項 1 に記載の編集装置。

【請求項 3】

上記ビットレート制御手段は、上記出力ビットレートと上記素材ビットレートとが同じであると判定した場合、上記素材ビットレートのまま変換せずに出力し、上記素材ビットレートが上記出力ビットレートよりも大きいと判定した場合、上記映像素材を一旦デコードした後に上記出力ビットレートに合わせるように再度エンコードする

ことを特徴とする請求項 1 に記載の編集装置。

【請求項 4】

入力した編集対象の映像素材に関する素材ビットレートと、出力すべき出力ビットレートとを比較することによりビットレート判定を行うビットレート判定ステップと、

上記ビットレート判定ステップで上記出力ビットレートが上記素材ビットレートよりも大きいと判定した場合、意味の無いデータを上記映像素材の素材データに付加することにより上記素材ビットレートを上記出力ビットレートに変換するビットレート制御ステップと

を具えることを特徴とするビットレート制御方法。

【請求項 5】

上記ビットレート制御ステップでは、上記意味のないデータとして「0」データを付加する

ことを特徴とする請求項 4 に記載のビットレート制御方法。

【請求項 6】

上記ビットレート制御ステップでは、上記出力ビットレートと上記素材ビットレートとが同じであると判定した場合、上記素材ビットレートのまま変換せずに出力し、上記素材ビットレートが上記出力ビットレートよりも大きいと判定した場合、上記映像素材を一旦デコードした後に上記出力ビットレートに合わせるように再度エンコードする

ことを特徴とする請求項 4 に記載のビットレート制御方法。

【請求項 7】

編集装置に対して、

入力した編集対象の映像素材に関する素材ビットレートと、出力すべき出力ビットレートとを比較することによりビットレート判定を行うビットレート判定ステップと、

上記ビットレート判定ステップで上記出力ビットレートが上記素材ビットレートよりも大きいと判定した場合、意味の無いデータを上記映像素材の素材データに付加することにより上記素材ビットレートを上記出力ビットレートに変換するビットレート制御ステップと

を実行させるためのビットレート制御プログラム。

【請求項 8】

上記ビットレート制御ステップでは、上記意味のないデータとして「0」データを付加する

ことを特徴とする請求項 7 に記載のビットレート制御プログラム。

【請求項 9】

上記ビットレート制御ステップでは、上記出力ビットレートと上記素材ビットレートとが同じであると判定した場合、上記素材ビットレートのまま変換せずに出力し、上記素材ビットレートが上記出力ビットレートよりも大きいと判定した場合、上記映像素材を一旦デコードした後に上記出力ビットレートに合わせるように再度エンコードする

ことを特徴とする請求項 7 に記載のビットレート制御プログラム。

【請求項 10】

入力した編集対象の映像素材に関する素材ビットレートと、出力すべき出力ビットレートとを比較することによりビットレート判定を行うビットレート判定ステップと、

上記ビットレート判定ステップで上記出力ビットレートが上記素材ビットレートよりも大きいと判定した場合、意味の無いデータを上記映像素材の素材データに付加することにより上記素材ビットレートを上記出力ビットレートに変換するビットレート制御ステップと

を具えることを特徴とするビットレート制御プログラムを情報処理装置に実行させるビットレート制御プログラム格納媒体。

【請求項 11】

上記ビットレート制御ステップでは、上記意味のないデータとして「0」データを付加する

ことを特徴とする請求項 10 に記載のビットレート制御プログラム格納媒体。

【請求項 12】

上記ビットレート制御ステップでは、上記出力ビットレートと上記素材ビットレートとが同じであると判定した場合、上記素材ビットレートのまま変換せずに出力し、上記素材ビットレートが上記出力ビットレートよりも大きいと判定した場合、上記映像素材を一旦デコードした後に上記出力ビットレートに合わせるように再度エンコードする

ことを特徴とする請求項 10 に記載のビットレート制御プログラム格納媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】編集装置、ビットレート制御方法、ビットレート制御プログラム及びその格納媒体